



平成 24 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 協同飼料株式会社  
代表者名 代表取締役社長 林 泰 正  
(コード番号 2052 東証第一部)  
問合せ先 執行役員経理部長 大 友 彰  
( TEL. 045-461-5711 )

(訂正) 「平成 22 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」  
の一部訂正について

当社は、本日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、過年度の決算を訂正することといたしました。

このため、平成 22 年 1 月 29 日に発表いたしました「平成 22 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」の記載内容を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

訂正箇所が多数であるため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線\_\_\_\_を付して表示しております。

## 平成 22 年 3 月期 第 3 半期決算短信

平成 22 年 1 月 29 日

上場会社名 協同飼料株式会社

上場取引所 東

コード番号 2052 URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 弘一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大友 彰 TEL 045-461-5711

四半期報告書提出予定日 平成 22 年 2 月 12 日

配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 22 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 3 月期第 3 四半期	89,348	△20.0	2,107	-	1,510	275.5	669	133.2
21 年 3 月期第 3 四半期	111,627	-	167	-	402	-	287	-

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22 年 3 月期第 3 四半期	6.74	-
21 年 3 月期第 3 四半期	2.89	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22 年 3 月期第 3 四半期	47,411	13,457	28.4	135.29
21 年 3 月期	45,894	13,134	28.6	132.04

(参考) 自己資本 22 年 3 月期第 3 四半期 13,453 百万円 21 年 3 月期 13,131 百万円

## 2. 配当の状況

	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21 年 3 月期	-	-	-	3.00	3.00
22 年 3 月期	-	-	-	-	-
22 年 3 月期 (予想)	-	-	-	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成 22 年 3 月期の連結業績予想 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	125,000	△11.8	1,800	139.2	1,600	63.7	800	64.4	8.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無  
新規 一社 （社名 ） 除外 一社 （社名 ）
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）  
① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
② ①以外の変更 有  
(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- |                      |             |              |             |              |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第3四半期 | 103,995,636株 | 21年3月期      | 103,995,636株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第3四半期 | 4,547,327株   | 21年3月期      | 4,547,925株   |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 99,448,197株  | 21年3月期第3四半期 | 99,449,489株  |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 平成22年3月期の連結業績予想は平成21年5月12日に公表したとおりです。
- (2) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日）のわが国経済は、一部に景気の持ち直しの動きが見られたものの、雇用情勢の悪化による景気の不透明感から個人消費は低迷し、設備投資も企業業績の低迷から停滞しており、依然として厳しい状況で推移しています。

飼料畜産業界におきましては、配合飼料の主要原料であるとうもろこしは、一時1ブッシェル当たり4ドルを超えましたが、米国の豊作期待から徐々に値を下げて3ドル台で推移しています。また、海上運賃は堅調に推移しており、外国為替市場は引き続き円高傾向で推移しております。

畜産物につきましては、鶏卵・鶏肉・豚肉・牛肉相場とも、期を通じていずれも長期に低迷し、畜産生産者は依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした環境にあって当社グループの配合飼料の販売数量は前年同期並みで推移しましたが、配合飼料価格は、平成21年1月に続き4月も値下げした後、7月は値上げしたものの10月に再び値下げしたことから、売上高は893億4千8百万円（前年同期比20.0%減）となりました。一方、営業利益は21億7百万円（前年同期比1,159.1%増）、経常利益は15億1千万円（前年同期比275.5%増）、当四半期純利益は6億6千9百万円（前年同期比133.2%増）となりました。

事業別の状況は、以下の通りです。

飼料事業

飼料事業では、配合飼料の販売数量は前年同期並みで推移しましたが、売上高は配合飼料価格の値下げにより、前年同期比22.8%減の619億9千5百万円となりました。営業利益は、前年同期における穀物相場の異常な高騰がみられなかったために、26億1千4百万円（前年同期比282.7%増）となりました。

畜産物事業

畜産物事業では、売上高は、豚肉や鶏卵など畜産物相場が低位に推移したことから、前年同期比12.8%減の273億5千3百万円となり、営業利益は2億4千4百万円（前年同期比31.5%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の財政状況を前期末と比べますと、総資産は受取手形及び売掛金の増加等により15億1千7百万円増加して474億1千1百万円となり、一方、負債は支払手形及び買掛金の増加等により11億9千3百万円増加して、339億5千4百万円となりました。純資産は3億2千3百万円増加して134億5千7百万円となりました。

## (2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当四半期純利益14億8千4百万円や減価償却費7億6千4百万円等により、48億7千9百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う固定資産の取得6億7千万円等により、5億9千7百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の減少32億6千4百万円、配当金支払2億9千8百万円等により、36億7千4百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物期末残高は、12億2千7百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想は平成21年5月12日に公表したとおりです。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## ②繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## ③固定資産の減価償却費の算定方法

連結子会社においては、固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## ④税金費用の計算

当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## 1. 会計基準等の改正に伴う変更

該当事項はありません。

## 2. 1以外の変更

## 為替差額の計上方法について

仕入取引に係る「為替差額」については、従来、営業外損益に計上しておりましたが、売上原価をより適切に表示するため、当第1四半期連結会計期間より売上原価に含めて計上する方法に変更しております。

これにより、従来の方法と比べ、当第3四半期連結累計期間の売上総利益及び営業利益がそれぞれ6百万円減少しております。なお、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響はありません。

セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,271	634
受取手形及び売掛金	22,648	20,625
商品及び製品	733	704
仕掛品	470	512
原材料及び貯蔵品	2,249	2,774
繰延税金資産	58	57
短期貸付金	305	339
その他	1,210	1,045
貸倒引当金	△48	△45
流動資産合計	28,898	26,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,113	2,195
機械装置及び運搬具(純額)	2,853	2,766
土地	2,926	2,718
建設仮勘定	2	101
その他(純額)	235	203
有形固定資産合計	8,131	7,985
無形固定資産		
その他	321	325
無形固定資産合計	321	325
投資その他の資産		
投資有価証券	3,546	3,762
長期貸付金	3,670	4,033
長期未収入金	4,753	4,174
破産更生債権等	545	541
繰延税金資産	2,488	2,523
その他	576	550
貸倒引当金	△5,521	△4,651
投資その他の資産合計	10,060	10,935
固定資産合計	18,513	19,246
資産合計	47,411	45,894

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,148	10,356
短期借入金	7,121	8,568
未払法人税等	587	132
賞与引当金	158	310
その他	3,526	3,131
流動負債合計	25,543	22,500
固定負債		
長期借入金	6,885	8,702
退職給付引当金	1,244	1,220
役員退職慰労引当金	155	265
その他	125	71
固定負債合計	8,410	10,259
負債合計	33,954	32,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,199	5,199
資本剰余金	4,947	4,947
利益剰余金	3,868	3,497
自己株式	△458	△458
株主資本合計	13,557	13,186
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△125	△62
繰延ヘッジ損益	22	6
評価・換算差額等合計	△103	△55
少数株主持分	3	3
純資産合計	13,457	13,134
負債純資産合計	47,411	45,894

## (2) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	111,627	89,348
売上原価	103,330	78,137
売上総利益	8,297	11,210
販売費及び一般管理費	8,130	9,103
営業利益	167	2,107
営業外収益		
受取利息及び配当金	97	69
持分法による投資利益	25	—
その他	579	184
営業外収益合計	702	254
営業外費用		
支払利息	281	238
持分法による投資損失	—	98
その他	186	514
営業外費用合計	467	850
経常利益	402	1,510
特別利益		
貸倒引当金戻入額	238	—
特別利益合計	238	—
特別損失		
固定資産評価損	77	26
投資有価証券評価損	81	—
特別損失合計	158	26
税金等調整前四半期純利益	481	1,484
法人税等	193	813
少数株主利益	0	0
四半期純利益	287	669



## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	481	1,484
減価償却費	685	764
引当金の増減額(△は減少)	△379	634
持分法による投資損益(△は益)	△25	98
売上債権の増減額(△は増加)	△6,083	△2,979
たな卸資産の増減額(△は増加)	400	538
仕入債務の増減額(△は減少)	6,161	3,791
法人税等の支払額	△259	△292
その他	898	840
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,879</b>	<b>4,879</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△544	△670
有形及び無形固定資産の売却による収入	10	6
投資有価証券の取得による支出	△5	△3
投資有価証券の売却による収入	1	10
短期貸付金の増減額(△は増加)	157	△10
長期貸付けによる支出	△167	△97
長期貸付金の回収による収入	294	196
その他	△2	△29
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△257</b>	<b>△597</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,476	△2,170
長期借入れによる収入	200	1,300
長期借入金の返済による支出	△2,257	△2,394
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△298	△298
その他	△122	△111
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,002</b>	<b>△3,674</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	619	608
現金及び現金同等物の期首残高	491	619
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,110	1,227

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	飼料事業 (百万円)	畜産物事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	80,261	31,366	111,627	—	111,627
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	37	—	37	( 37)	—
計	80,299	31,366	111,665	( 37)	111,627
営業費用	79,616	31,008	110,625	835	111,460
営業利益(又は営業損失)	683	357	1,040	( 873)	167

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	飼料事業 (百万円)	畜産物事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	61,995	27,353	89,348	—	89,348
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	23	—	23	(23)	—
計	62,019	27,353	89,372	(23)	89,348
営業費用	59,405	27,108	86,513	727	87,241
営業利益(又は営業損失)	2,614	244	2,859	(751)	2,107

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

3. 仕入取引に係る「為替差額」については、従来、営業外損益に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、売上原価に含めて計上する方法に変更しております。これにより、飼料事業セグメントの営業利益が6百万円減少しております。

## 【所在地別セグメント情報】

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。


## 【海外売上高】

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

[訂正後]

(財)財務会計基準機構会員 

## 平成 22 年 3 月期 第 3 半期決算短信

平成 22 年 1 月 29 日

上場会社名 協同飼料株式会社

上場取引所 東

コード番号 2052 URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 弘一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大友 彰 TEL 045-461-5711

四半期報告書提出予定日 平成 22 年 2 月 12 日

配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 22 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 3 月期第 3 四半期	89,348	△20.0	2,107	-	1,510	275.5	669	133.2
21 年 3 月期第 3 四半期	111,627	-	167	-	402	-	287	-

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22 年 3 月期第 3 四半期	6.74	-
21 年 3 月期第 3 四半期	2.89	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22 年 3 月期第 3 四半期	46,819	12,865	27.5	129.33
21 年 3 月期	45,302	12,541	27.7	126.08

(参考) 自己資本 22 年 3 月期第 3 四半期 12,861 百万円 21 年 3 月期 12,538 百万円

## 2. 配当の状況

	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21 年 3 月期	-	-	-	3.00	3.00
22 年 3 月期	-	-	-	-	-
22 年 3 月期 (予想)	-	-	-	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成 22 年 3 月期の連結業績予想 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	125,000	△11.8	1,800	139.2	1,600	63.7	800	64.4	8.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無  
新規 一社 （社名 ） 除外 一社 （社名 ）
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）  
① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
② ①以外の変更 有  
(注)詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- |                     |             |              |             |              |
|---------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ①期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第3四半期 | 103,995,636株 | 21年3月期      | 103,995,636株 |
| ②期末自己株式数            | 22年3月期第3四半期 | 4,547,327株   | 21年3月期      | 4,547,925株   |
| ③期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 99,448,197株  | 21年3月期第3四半期 | 99,449,489株  |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 平成22年3月期の連結業績予想は平成21年5月12日に公表したとおりです。
- (2) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日）のわが国経済は、一部に景気の持ち直しの動きが見られたものの、雇用情勢の悪化による景気の不透明感から個人消費は低迷し、設備投資も企業業績の低迷から停滞しており、依然として厳しい状況で推移しています。

飼料畜産業界におきましては、配合飼料の主要原料であるとうもろこしは、一時1ブッシェル当たり4ドルを超えましたが、米国の豊作期待から徐々に値を下げて3ドル台で推移しています。また、海上運賃は堅調に推移しており、外国為替市場は引き続き円高傾向で推移しております。

畜産物につきましては、鶏卵・鶏肉・豚肉・牛肉相場とも、期を通じていずれも長期に低迷し、畜産生産者は依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした環境にあって当社グループの配合飼料の販売数量は前年同期並みで推移しましたが、配合飼料価格は、平成21年1月に続き4月も値下げした後、7月は値上げしたものの10月に再び値下げしたことから、売上高は893億4千8百万円（前年同期比20.0%減）となりました。一方、営業利益は21億7百万円（前年同期比1,159.1%増）、経常利益は15億1千万円（前年同期比275.5%増）、当四半期純利益は6億6千9百万円（前年同期比133.2%増）となりました。

事業別の状況は、以下の通りです。

飼料事業

飼料事業では、配合飼料の販売数量は前年同期並みで推移しましたが、売上高は配合飼料価格の値下げにより、前年同期比22.8%減の619億9千5百万円となりました。営業利益は、前年同期における穀物相場の異常な高騰がみられなかったために、26億1千4百万円（前年同期比282.7%増）となりました。

畜産物事業

畜産物事業では、売上高は、豚肉や鶏卵など畜産物相場が低位に推移したことから、前年同期比12.8%減の273億5千3百万円となり、営業利益は2億4千4百万円（前年同期比31.5%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の財政状況を前期末と比べますと、総資産は受取手形及び売掛金の増加等により15億1千7百万円増加して468億1千9百万円となり、一方、負債は支払手形及び買掛金の増加等により11億9千3百万円増加して、339億5千4百万円となりました。純資産は3億2千3百万円増加して128億6千5百万円となりました。

## (2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当四半期純利益14億8千4百万円や減価償却費7億6千4百万円等により、48億7千9百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う固定資産の取得6億7千万円等により、5億9千7百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の減少32億6千4百万円、配当金支払2億9千8百万円等により、36億7千4百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物期末残高は、12億2千7百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想は平成21年5月12日に公表したとおりです。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

連結子会社においては、固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④税金費用の計算

当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 会計基準等の改正に伴う変更

該当事項はありません。

2. 1以外の変更

為替差額の計上方法について

仕入取引に係る「為替差額」については、従来、営業外損益に計上しておりましたが、売上原価をより適切に表示するため、当第1四半期連結会計期間より売上原価に含めて計上する方法に変更しております。

これにより、従来の方法と比べ、当第3四半期連結累計期間の売上総利益及び営業利益がそれぞれ6百万円減少しております。なお、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響はありません。

セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,271	634
受取手形及び売掛金	22,648	20,625
商品及び製品	733	704
仕掛品	470	512
原材料及び貯蔵品	2,249	2,774
繰延税金資産	58	57
短期貸付金	305	339
その他	1,210	1,045
貸倒引当金	△48	△45
流動資産合計	28,898	26,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,113	2,195
機械装置及び運搬具(純額)	2,853	2,766
土地	2,926	2,718
建設仮勘定	2	101
その他(純額)	235	203
有形固定資産合計	8,131	7,985
無形固定資産		
その他	321	325
無形固定資産合計	321	325
投資その他の資産		
投資有価証券	3,546	3,762
長期貸付金	3,670	4,033
長期未収入金	4,753	4,174
破産更生債権等	545	541
繰延税金資産	2,899	2,935
その他	576	550
貸倒引当金	△6,525	△5,655
投資その他の資産合計	9,467	10,343
固定資産合計	17,921	18,654
資産合計	46,819	45,302

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,148	10,356
短期借入金	7,121	8,568
未払法人税等	587	132
賞与引当金	158	310
その他	3,526	3,131
流動負債合計	25,543	22,500
固定負債		
長期借入金	6,885	8,702
退職給付引当金	1,244	1,220
役員退職慰労引当金	155	265
その他	125	71
固定負債合計	8,410	10,259
負債合計	33,954	32,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,199	5,199
資本剰余金	4,947	4,947
利益剰余金	3,276	2,905
自己株式	△458	△458
株主資本合計	12,965	12,594
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△125	△62
繰延ヘッジ損益	22	6
評価・換算差額等合計	△103	△55
少数株主持分	3	3
純資産合計	12,865	12,541
負債純資産合計	46,819	45,302



## (2) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	111,627	89,348
売上原価	103,330	78,137
売上総利益	8,297	11,210
販売費及び一般管理費	8,130	9,103
営業利益	167	2,107
営業外収益		
受取利息及び配当金	97	69
持分法による投資利益	25	—
その他	579	184
営業外収益合計	702	254
営業外費用		
支払利息	281	238
持分法による投資損失	—	98
その他	186	514
営業外費用合計	467	850
経常利益	402	1,510
特別利益		
貸倒引当金戻入額	238	—
特別利益合計	238	—
特別損失		
固定資産評価損	77	26
投資有価証券評価損	81	—
特別損失合計	158	26
税金等調整前四半期純利益	481	1,484
法人税等	193	813
少数株主利益	0	0
四半期純利益	287	669

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	481	1,484
減価償却費	685	764
引当金の増減額 (△は減少)	△379	634
持分法による投資損益 (△は益)	△25	98
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,083	△2,979
たな卸資産の増減額 (△は増加)	400	538
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,161	3,791
法人税等の支払額	△259	△292
その他	898	840
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,879</b>	<b>4,879</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△544	△670
有形及び無形固定資産の売却による収入	10	6
投資有価証券の取得による支出	△5	△3
投資有価証券の売却による収入	1	10
短期貸付金の増減額 (△は増加)	157	△10
長期貸付けによる支出	△167	△97
長期貸付金の回収による収入	294	196
その他	△2	△29
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△257</b>	<b>△597</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,476	△2,170
長期借入れによる収入	200	1,300
長期借入金の返済による支出	△2,257	△2,394
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△298	△298
その他	△122	△111
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,002</b>	<b>△3,674</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	619	608
現金及び現金同等物の期首残高	491	619
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,110	1,227

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	飼料事業 (百万円)	畜産物事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	80,261	31,366	111,627	—	111,627
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	37	—	37	( 37)	—
計	80,299	31,366	111,665	( 37)	111,627
営業費用	79,616	31,008	110,625	835	111,460
営業利益(又は営業損失)	683	357	1,040	( 873)	167

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	飼料事業 (百万円)	畜産物事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	61,995	27,353	89,348	—	89,348
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	23	—	23	(23)	—
計	62,019	27,353	89,372	(23)	89,348
営業費用	59,405	27,108	86,513	727	87,241
営業利益(又は営業損失)	2,614	244	2,859	(751)	2,107

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

3. 仕入取引に係る「為替差額」については、従来、営業外損益に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、売上原価に含めて計上する方法に変更しております。これにより、飼料事業セグメントの営業利益が6百万円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。